

令和7年度
すくわくプログラム活動報告書

(実施対象：4・5歳児クラス)

モニカ茗荷谷駅前園

Monica

テーマ

動植物と自然の関係性

設定理由

散歩時、自分達で見つけた生き物に興味を持ち、園に帰ってから図鑑で調べ、名前や種類がわかると喜ぶ姿が真られるようになった。

食育の時、野菜の葉や形がどのように実っていくか興味をもち育てたいという思いを強く持った。

食と植物の関連性について知る良い機会と思った。

対象クラス

4・5歳児クラス 20名

活動のねらい

植物に興味を持ち、共感したり、大切に作る気持ちを育む

問い

「これなに？しらべてみようか？」

活動期間

令和7年5月～8月

活動回数

計4回

活動①

苗の観察をする

環境構成

場所：大部屋（オレンジ台）

時間：15：30～16：30

（1グループ5人10分、グループは4・5歳児混合）

子どもたちが集中して行えるようテーブルにマイクروسコープや拡大鏡をセッティングする。観察したい苗を選べるように中央に並べておく。

<内容>

1. 苗をマイクروسコープや拡大鏡で観察する。
その後、1グループ（各5名）ごと苗を選ぶ。
2. 苗に触れ、机にセッティングされたマイクروسコープや拡大鏡で観察。葉の部分や、茎の部分、苗の部分の肉眼では見られない映像がiPadに映し出される。映し出された部分を興味深く見る。
3. 観察後、サークルタイムで振り返る。



準備物

苗(6) | iPad(5) | マイクロスコープ(5) | 拡大鏡(5) | 虫メガネ | 机(3) | 図鑑(2)

振り返り

- 座って探究できる環境だったので集中できていた。
- マイクロスコープを使い植物の葉を見る探究から去年取り組んだ活動が子どもたちの中で繋がり反応する様子が見られた。
- 今回は、時間が決まっていた短時間だったが、次回は、余裕を持って時間をとり探究活動を出来るようにしたい。
- マイクロスコープの使い方にまだ慣れていなかった為、見たいものに焦点が合わず見れない子がいた。
- 「葉が見えた」「レンズで大きく見えた」「ぶつぶつがあった」等、観察をし感じたことを発言していた。
- マイクロスコープや図鑑で調べ「ブロッコリーだと思う」「トマトだと思う」と、仮説をたて話し苗の生長に興味を芽生えていた。
- 普段見ることの出来ない部分を拡大鏡を使い観察することが出来ていた。

活動① 苗を見てみよう

R7.5月

散歩に出掛けると、様々な動植物を見つけ、生き物や植物の発見を喜び友だちや保育者に伝えたり、園に戻ると友だちと一緒に図鑑で調べたりして、知識を深め。自然物の生長過程にも興味を持っていた。身近な自然や命に触れ、自分たちでも何かを育ててみたいという気持ちが芽生え、食と植物の育ちを観察することにした。



机に並べられた苗に興味を持つ子どもたち。

「どれ見てみる?」「調べてみようか」という問いかけに期待を膨らませて活動に取り組んでいた。



触れる



とまとみたいな
みがついてるよ

調べる

おとうさんのみ
おかあさんのみ
こどものみ

このはっぱ
ざらざらしてる

見る



このくきは
とげとげしてるかんじがする

はっぱがよーくみえるね
はっぱのせんがよくみえる

わ!
いっばいけがはえてる

自分の肌で感じ、自分で調べ、自分の目で確かめることにより、細かい部分に気付き、自分で気付いた嬉しさを感じながら発見を楽しんでいた。椅子に座り、手の届く距離に、マイクروسコープや拡大鏡、図鑑などがあることにより、落ち着いた環境の中で苗の探究を行っていた。子どもたちが観察している近くで保育者が「これ何かな?」「何が見えた?」など問いかけると、観察している苗について喜んで話す姿が見られた。

子どもの探究心や子どもん思考を大切にしながら、観察や苗の世話を繰り返し行いながら生長を見ていく。

活動②

苗を植える

問 い

土に植えたらどうなる？何になるかな？

環境構成

場所：エントランス

時間：15：30～16：30

(2グループ10人、グループは4・5歳児混合)

<内容>

1. 苗を2人ずつ植える。
(2グループ10人、グループは4・5歳混合のグループ)
2. 両手で苗を持ち土の中にいれ土をかる。
その後、順番で水をやる。
3. 振り返りをする。



準備物

苗(きゅうり2、オクラ4、トマト2) | 培養土(8) | プランター(4) | 水入りバケツ(1) | じょうろ(2) | 鉢底に入れる石(4)

振り返り

- 苗の存在に興味を持ち土に植え育っていく事に興味を持っていた。
- 苗の生長のために水やりの世話をすることを知ると「楽しみ」という子がいた。
- 活動時間は30分で丁度いい時間だった。
- 子どもたち同士協力し苗を植える姿があった。
- 「土は根っこを守る」「水は栄養だよね」「土のお布団の中で寝るんだ」と、苗を植えながら子どもたちの考えを話していた。
- 活動中の保育者の言葉がけが問いではなく、次の行動を言葉で伝えていたので、子どもたちから言葉な発言を大切にすると良かった。

活動② 苗を植える

R7.5月



観察した苗を、プランターに植えた。みんなで協力して、重たい土を「よいしょ」とプランターへと移した。土や肥料、水などを子ども自身で行うことによって、苗が育つのに必要な物や苗の育て方に気づいた。



なえのおうちをつくろう
いっしょにうえよう



おふとんかけてあげる
どうやったらおおきくなるのかな



おおきくな〜れ
おおきくな〜れ



観察した時の苗の様子を思い出し、友だちと会話をしながら苗を植えていた子どもたち。観察から自分たちで育ててみたいという気持ちが芽生え、苗を植える時も丁寧に優しく苗に話しかけながら植えていた。子どもの発言に耳を傾けながら、共感したり、一緒に考えたりすることで、苗について考えを深めたり、食物の育っていく過程を想像しながら苗植えを進めていた。

日々の苗の生長を記録に取りながら、変化に気が付けるようにしていく。

活動③

観察・水やり

問 い

どうなるかな？これはなに？教えてくれる？

環境構成（3-1）水やり

場所：ベランダ 時間：15：20～

<内容>

1. グループ順で、各2名ずつ行う。
2. ベランダで苗に水をやり、苗を観察する。



- 植えた苗に水をやることへの期待が持てるようにする。
- 水やりや観察の目的がずれないようにする。
- 水をあげる時は、苗と水の関係、水と生長の関係など感じらる環境を作り世話をする。

環境構成（3-2）水やり+観察日記

場所：ベランダ 時間：15：20～

<内容>

1. グループ順で、各2名ずつ行う。
2. ベランダで苗に水をやり、苗を観察する。



- 生長した苗は前回来た時より変わっている、苗の生長を表現する方法を考える。



環境構成（3-3）観察

場所：大部屋+ベランダ



<内容>

1. グループごと、苗の観察をする。（他のグループは散歩に行き、1グループがゆっくりと観察できる時間を作る）始める前に、植えた苗を観察する約束事を確認し行う。
2. 問いの声掛けをし、子ども達の言葉を聞く。（マイクロSCOPEや拡大鏡、図鑑、紙を設定しておく）絵日記を描く。
3. 活動終了後、苗を見てどのように感じたか、話し合う時間を作る。



準備物

プランターの苗 | ジョウロ(2) | 水 | サンダル(3) | カメラ | 画用紙(正、長、細) | 板(3) | 鉛筆(3)

振り返り

- 水やりの水の量を担任間で共有していなかった。今後、植物を育てる時は水のかける量には気を付けていく。
- 苗の本数も多かったため、必要量を考えて注文できるようにする。
- 苗を植えたときの印象が大きく、「水は栄養、土にたくさん水あげよう」と世話をする度に子どもたちから声が出ていた。
- 植物には、水、太陽、土が必要なことを子どもたちの中から言葉が自然と出ていた。
- どう描けばみんなに苗の生長が伝わるか考えながら描こうとする姿があった。
- 観察日記では、一枚の紙に一人ずつ描く姿があった。

活動③-1 苗の水やり

R7.6月



植えた苗を生長させるにはどうしたら良いか考える子どもたちから「水やりをしなくちゃ」「苗は水と太陽と肥料が必要だよ」という声が上がっていた。

2～3人の少人数の子どもたちで毎日順番に水やりをした。



みずはごはんだよね～

いっぱいあげないとね

土が濡れていないね、水あげよう大きくなるかなー

どうなるかなー

水やりを通して子どもたちの中から、自分たちが植えた苗の生長を気にするようになっていった。土が濡れていない時は水がないという事も日頃の水やりを通して感じているようだった。

知識と経験が繋がる時・・・

次に水やりをした時どう育っているのかを心待ちにしていました。





育てている苗の情報をどうやってみんなに伝えたいか子どもたちに問うと、「絵に描きたい」「写真に撮ってみる」と子どもたちからあがっていた。

様々な形の白色の画用紙、鉛筆、カメラを用意して観察を行う。



このぼうくらいまでおおきくなるのかな
これがみ、これがはっぱ



はながさいてる！ここからまたはながさくのかな

くきにけがあるのは、
きけんなものからじぶんのみを
まもるためなのかもしれない



観察で“見た物を描く”という点から、子どもたちの目で見たとことや感じたことを絵で表現することで、それぞれの絵に子どもたちの思いが描かれているように感じた。

自分の目で確かめることで、植えたときと今の苗の変化に気付いたり、ここからまた生長していくには何が必要か、どこがどうなっているのか考えながら、活動に取り組みこれからの苗の生長に期待を持っていた。

活動③-3 苗の観察(絵日記)

R7.6月～7月

水やりや観察を通して、苗の生長や変化に気付き、じっくりと苗を眺めていた子どもたち。

茎や葉が大きくなる様子を見て、様々な思いを感じていた。



“きゅうりのはながさいた”

“きゅうりがなったよ”

“くきのところがななめになってたよ”



わ!きゅうりができてる!

このなえ、きゅうりだったんだ!



はなのところにきゅうりができるのかな

はなをよくみたら、

きいろとしろっぽかったよ

おなじおおきさのきゅうりだね



苗の生長過程を見て感じたことや苗の様子を絵日記で表現した。

観察する中で、始めは自分よりも小さかった苗が、自分の背丈よりも大きくなっていることへの驚きや、生長の速さを感じていた子どもたち。苗を植えた時は、葉や茎を見たり調べたりする中で、何の苗なのか予想していたが、葉が大きくなり花が咲き、実がなると「この苗はきゅうりだったんだ」と目を輝かせていた。

初めにできた野菜は“きゅうり”だったが他の苗には何ができるのかさらに期待を持っていた子どもたちだった。

活動④

収穫をする

問 い

どうなっているかな？

環境構成

場所：ベランダ

<内容>

1. グループ(2~3名)で水やり後行う。
2. 野菜が生長し収穫できる事を確認し、保育者と収穫をする。
保育室に戻り他の友だちにも見せ、
収穫したものを見せ合う。
3. 収穫した野菜を観察する。
(テーブルにマイクルスコープ、iPad、野菜を設定)
4. 振り返りをする。



準備物

はさみ | 入れ物 | 図鑑 | マイクロスコープ | 拡大鏡 | サンダル

振り返り

- 育てた植物が大きくなった様子を見て「美味しそう」「もう食べられるかな」と生長を喜ぶ姿があった。
- きゅうりを収穫する時「優しく取ろう」などと、友だちと話しながら収穫をすることが出来ていた。
- きゅうりの収穫は合計7本取れた。取れた物の管理ができず3本腐らせてしまったので、収穫した物の管理の仕方も考えていく。
- 収穫後、マイクロスコープや拡大鏡での観察では、子どもたち同士協力して気になる場所を撮影する姿があった。

活動④-1 苗(きゅうり)の観察

～マイクروسコープを使って～

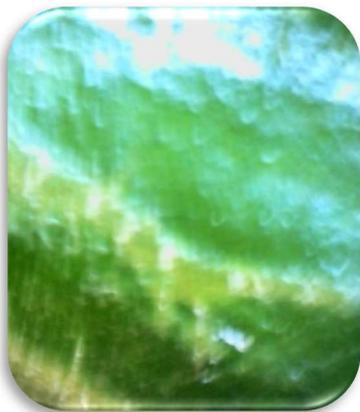
R7.7.2



キュウリを収穫し、子どもたちときゅうりのそのものを観察することになった。
マイクروسコープと、iPad、収穫したキュウリをテーブルに設置しておく。



まわすとみえるんだー
おさえててー



どこをみてる？と子どもたちに問いかけると野菜をじっと見つめ、野菜を回し見て、マイクروسコープを野菜の気になるところにあてていた。離したり、近づけたり、いろんなことを試していた。気に入った所を写真に撮る時は、一人だと上手く出来ないことが何度かやっていくうちに分かり、友だちと協力して撮る工夫も生まれていた。子どもの探究への深まりを感じる場面だった。

活動④-2 苗の観察～拡大鏡を使って～

R7.7.9



自分たちで育て収穫したきゅうりをマイクロスコープを使って観察する子どもたち。お部屋でゆっくり観察を続けていくと、自分の目だけでは見えなかったものが見えたことに興味を持っていた。

色々な方向から観察する子どもたち。
それぞれのきゅうりには違いがあるということに気づいていた。



このきゅうりには ぶつぶつが無いね



端っこはどうなっているんだろう

つるつるしてる～

お漬物の匂いがするよ！

自分たちで育て収穫したきゅうりには「私たちが育てた大切なきゅうり」「この間のより大きいね」「早く食べたいな」「次はどんな味だろう」など特別な思いを持っていた。
たくさんの観察していくうちに、もっと細部まで観察しようとしていた子どもたち。
拡大鏡では何が見えるのか、目では見えない所が拡大鏡では見えるかもしれない、と疑問や期待を胸にこれからも観察は続いていく。

活動④-3 ～枯れた苗の観察～

毎日水をあげ育てていた苗が枯れていた。「なぜだろう?」という疑問を持ちながら、マイクロスコープや拡大鏡を使って枯れた苗の観察をすることにした。



茶色くなってるね

こっちは しわしわ

触ると 枯れちゃうかも

茶色い所はパリパリしてる

水をあげすぎて枯れたのかな?

野菜が美味しそうだったから虫が食べちゃったんだ

これからは太陽にも当ててあげよう



観察を続けていくと、今まで気が付かなかったことに気付いた子どもたち。「なぜ枯れたのだろう」「毎日水をあげすぎたのかも」「カラスが食べたから?」とたくさん想像し、様々な考えを持っていた。枯れた苗の観察を続け“なぜ枯れたのか”“枯れたあとはどのような変化が起こるのか”そして今後は枯れた苗の根っこに焦点を当てていく。

活動④-4 苗の観察(根っこの不思議)

R7.8月



枯れた苗を観察する中で、一度枯れた苗はもう生長しないのか、考える子どもたち。

根っこから栄養をとる苗は、根っこを水に入れたら元気になるのか考え、根っこを観察してみることにした。

根っこを掘り
土を水で落としていくと…



どンドン、つちがとれていく

ねっこがみえてきたよ



ねっこ、ほそいね
かたくなってる
からまってる
ねっこがみずをのむから
もしかしたらおおきくなるかも！



根っこを掘り起こすと、土がついていてよく見えないことから、まずは根っこについている土を洗い流すことにした。土が落ち根っこが徐々に見えてくると、自分が想像していた根っこだった子、思っていた根っこと違うと感じた子など様々だった。

苗が枯れた原因は根っこかもしれないと考える子どもたちの思いから実際に根っこを掘り起こしてすることで、真実はどうだったのか、これからどうなるのかなどを考え、子どもの想像や発想、実際に目で見て確かめることなどから、植物の生きる力を感じているようだった。

活動⑤

サンドイッチ作り

問 い

切ったらどうなるかな？どんな味かな？どうだった？

環境構成

大部屋（いるか組がきゅうりを切るときは、オレンジ台）

<内容>

【A】

1. サークルタイムをして、きゅうりをどうするかみんなで話し合う
2. 子どもたちから出た意見でサンドイッチを作る。
きゅうりを切るのは、5歳児が行う。
3. サンドイッチを作るための準備・いるか組きゅうりを切る。
4. おやつを楽しみに待つことを伝える。

【B】

1. おやつの準備をする前にサークルタイムをする。
2. おやつを食べる準備をする。
3. サンドイッチを作り、自分で食べる。
4. 食べた後は、グループごとサークルタイムで振り返りをする。



準備物

机(3) | いす(10) | 三角巾(10) | エプロン(10) | きゅうり(2) | 包丁(2) | まな板(2) | 切ったきゅうりを入れる入れ物など

振り返り

- サークルタイムで問うと、「サンドイッチを作る」と、きゅうりが出来たらサンドイッチを作ることを覚えており、作り食べることに「楽しみ」と意欲を持っていた。
- 自分たちが育てたきゅうりを包丁できって見せてもらうと、「きゅうりの匂い」「いい匂い」「種?」「みずみずしいね」と、言葉が子どもたちから聞かれた。
- 包丁できゅうりを切ると「きゅうりの音だ」「きゅうりは冷たい」「サンドイッチに合う大きさが良い」と、感じることを話友だちと共有していた。
- きゅうりを切る所を興味のある4歳児の子も見るスペースを作ると見ている子が何人かいた。
- 4歳児にも5歳児が切ったきゅうりの断面を見せる時間を作れば良かった。
- おやつのは、サンドイッチを食べてから普通のおやつを提供する。



きゅうりの匂いがあるね

つめたい

ここもきゅうりの匂い

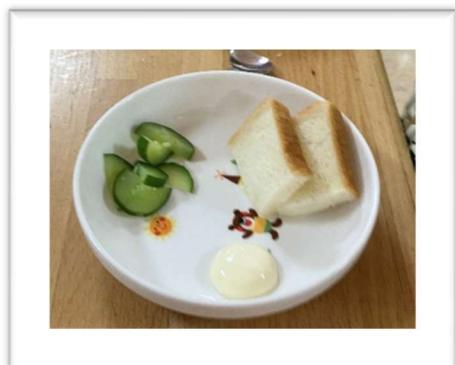
育てた苗からきゅうりが出来るとサンドイッチ
つくり挑戦した。

サンドイッチを作るため、きゅうりを給食の先生
が包丁で切り、中を見せてくれた。子ども達は、
きゅうりを興味深く覗き込んでいた。



みずみずしいね

これなんだろう



どんな味かなー

これまで、苗を土に植え、水をやり葉や花が咲きそして、実ができ、苗の背丈が大きくなる姿を観察してきた。子どもたちの日々の観察からきゅうりが育つには太陽や水が必要で、自分たちも日々、食べたり身体を動かしたりすることで大きくなっていく事と同じである事に気付き、食べ物を大切にする心や気持ちが育つ経験となった。

全体の振り返り

- 3種類の野菜の違いや、園で育てている野菜とスーパーで見る野菜の違いにも気づけていたのは実際に植えて、観察をして、触った経験があるからだと感じた。
- 子どもの興味が日常生活に織り交ぜられており、より興味や関心が深まったと思った。
- 苗を植え育てて食べる過程が大切にされていた。それによって子どもがイメージしやすかったのではないか。野菜が実った・実らなかったを含めて子どもたちは面白さを感じていたと思った。
- 子どもとすれ違う時に苗の生長の様子を話してくれ、育った・枯れた理由が子どもから出てくるのは今までの過程を楽しんでいたからだと思った。
- 育てる難しさや収穫の喜び、五感を使う体験は貴重だと思った。



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ茗荷谷駅前園

〒112-0002
東京都文京区小石川5-3-2 エイト印刷ビル2階
TEL:03-5615-8798
FAX:03-5615-8799